



育児支援制度、利用したパパは2.0% 「手当での増額」が一番の要望

自分(パパ)の勤務先に育児支援制度があるのは約4割で、2007年と変わらない。利用している人は、全体のわずか2.0%(グラフ)。2007年の4.1%より減少している。調査対象である「あんふぁん」読者の家庭は、特に母親の8割が専業主婦なので、父親は制度を利用する必要性に迫られていないことも大きいだろう。

育児に関して、行政や勤務先へのパパの要望は「手当での増額」「支援制度の充実」「休みを取りやすくしてほしい」などが上位に(表)。

経済的な援助の拡大とともに、長時間労働や職場での休みづらい雰囲気改善が待たれている。

<調査概要>

2008年6月実施の「あんふぁん」2008年7月号誌面アンケートの回答から、301件を集計

<調査実施> あんふぁん

園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ パパの勤務先に育児支援制度はありますか? (全体n=301)

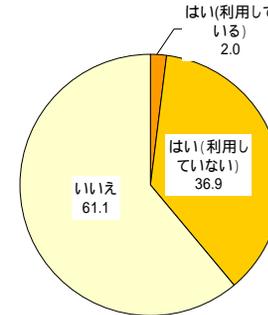


表 育児に関して、行政や勤務先へのパパの要望は? (複数回答) (全体n=301)

| | | |
|-----|---------------------------|-----|
| 1 | 手当を増やしてほしい | 57件 |
| 2 | 支援制度の充実 | 26件 |
| 3 | 休みを取りやすくしてほしい | 22件 |
| 3 | 長時間勤務の見直し | 18件 |
| 5 | 医療費助成の年齢枠を広げて欲しい | 17件 |
| 6 | 男性(父親)の育児休暇 | 15件 |
| 6 | 育児休暇の導入 | 15件 |
| 8 | 子供が遊べる環境を増やしてほしい | 8件 |
| 9 | 育児参加制度の確立 | 7件 |
| 9 | 市内の公立幼稚園をもっと増やしてほしい | 7件 |
| 1.1 | 子供と過ごす時間を多くしてほしい | 6件 |
| 1.1 | 育児に対する理解を深めてほしい | 6件 |
| 1.3 | 補助金制度の年齢枠を広げてほしい | 5件 |
| 1.4 | 給料の値上げ | 3件 |
| 1.4 | 自営業に対する行政の補助 | 3件 |
| 1.6 | 地域による医療格差 | 2件 |
| 1.6 | 予防接種や検診などを受けられる施設を増やしてほしい | 2件 |
| - | その他 | 30件 |
| - | 特になし | 21件 |
| | 無回答 | 61件 |